

呼

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

氏 名	年 月 日生	男 女
住 所		
①障害名（部位を明記）		
②原因となった 疾病・外傷名	交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、疾病、先天性、その他（ ）	
③疾病・外傷発生年月日 年 月 日・場 所		
④参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日		
⑤総合所見（再認定の項目も記入）		
〔 将来再認定 要（軽度化・重度化）・ 不要 〕 〔 再認定の時期 年 月 〕		
⑥その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 年 月 日 病院又は診療所の名称 所 在 地 診療担当科名 科 医師氏名		
身体障害者福祉法第 15 条第 3 項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・ 該当する （ ） 級相当） ・ 該当しない		
注 1 障害名の欄には、呼吸器機能障害と記入し、原因となった疾病・外傷名の欄には、肺気腫等障害の原因となった疾病等を記入するとともに、該当する事項を○で囲んでください（「その他」を囲んだ場合は（ ）内に具体的に記入してください。）。 2 障害区分や等級決定のため、改めて状況及び所見についてお問い合わせする場合があります。		

(該当するものを○で囲むこと)

1 身体計測

身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。

イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。

ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのため立ち止まることがある。

エ 平坦な道を約 100m、あるいは数分歩くと息切れのため立ち止まる。

オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

ア 胸 膜 癒 着 (無・軽度・中等度・高度)

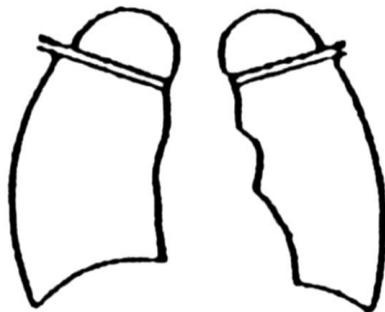
イ 気 腫 化 (無・軽度・中等度・高度)

ウ 線 維 化 (無・軽度・中等度・高度)

エ 不 透 明 肺 (無・軽度・中等度・高度)

オ 胸 郭 変 形 (無・軽度・中等度・高度)

カ 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換気の機能 (年 月 日)

ア 予測肺活量 __・__ __ L (実測肺活量 __・__ __ L)

イ 1 秒 量 __・__ __ L (実測努力肺活量 __・__ __ L)

ウ 予測肺活量 1 秒率 __ __・__ % ($=\frac{1}{T} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式（L）

男性 $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢 (歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢 (歳)} - 1.178$

（予測式の適応年齢は男性 18－91 歳，女性 18－95 歳であり，適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。）

5 動脈血ガス（ 年 月 日）

ア O₂分圧

① 室内気での検査数値 : ・ Torr

② 酸素吸入中での検査数値 : ・ Torr

（酸素吸入の状況 ）

イ CO₂分圧 : ・ Torr

ウ pH : ・

エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分

オ 耳朶血を用いた場合 : []

（注 1）O₂分圧については，原則として室内気（room air）での検査数値とする。

（注 2）O₂分圧が，本人の状態により酸素吸入中の数値しか得られない場合は，
「② 酸素吸入中での検査数値」に数値及び酸素吸入の状況を記載すること。

6 その他の臨床所見